

青雲の鐘 なるところ

〇はじめに

この「青雲の鐘 なるところ」は、いろんな式や行事で、私が、皆さんにお話ししたこと(つまり、校長の私が皆さんに伝えたこと)や、皆さんの学校生活の様子で気づいたことを、伝えるために発行することになりました。

このお便りのタイトル「青雲の鐘 なるところ」は、校歌の三番のフレーズからとったものです。

始業式でも話したように、西中学校は開校以来、「青雲の志」を大切にしてきました。青雲の志とは、今風に言えば、「白い雲のはるか先にある青空のような高い目標をもって進んでいこうとする思い」というような意味になると思います。今回は、始業式で皆さんにお話ししたことをあらためて、載せることにします。

中学校の三年間は、大人へと向かう「自立」の道のりの真っ只中にいます。その一年一年は、とても大切に、かけがえのないものです。

三年生は、義務教育九年間の最終年度を迎えます。この一年間は、「あの時、こうしておけばよかった」という苦い後悔をしないよう、一つ一つのことに全力で取り組んでください。そして、この西中学校を引っ張って行ってください。大いに期待しています。

進路選択ということが、頭をよぎっている人もいます。大事なことは、地道に学習を積み重ねるとともに、自分の得意なこと、好きなことや、自分の将来について、「よく考える」ことです。自分としっかり向き合う中で、今まで、出会うことのなかった「自分」と出会い、他の誰でもない「自分」をつくっていく一年にしてください。

次に、二年生。皆さんは、中堅学年として、学習や部活動、学校行事などで、内容の広がりや深まりが求められます。二年生の強みは、中学校生活を一年間経験していることで、イメージを持って、学校生活を送ることができることです。暗闇の中を、手探りで進むのではなく、去年の経験が自分の行く先を照らしてくれるはずですよ。たとえ、うまく行かないことがあっても、「三年生の一年間」という挽回のチャンスがあります。大きな目標を立て、果敢にチャレンジしてください。「何もしないから失敗がない一年間」より、「失敗してもよいから挑戦する一年間」の方が、はるかに意味があると思います。

次に、一年生。皆さんには、昨日の入学式で、西中の3年間の生活で、心がけてほしいことを2つ言いました。それは、「失敗を恐れず挑戦すること」と「お互いの違いを認めること」です。この2つを心がけて、西中生としての3年間のよいスタートを切ってください。

さて、本校の北館の屋上には、「青雲鐘」という鐘が設置されています。青雲という字は、青い雲と書きます。私も以前、6年間、西中学校に勤務したことがありますが、開校以来80年近い歴史を持つ本校で、ずっと大切にしてきたのが、「青雲の志」です。

「青雲の志」とは、現代風に言えば、「雲よりもはるかに上にある青空のように、高い目標を持って進んでいこうとする思い」ということになります。ここにいる皆さんにも、新しい年度の始まりにあたり、「青雲の志」のもと、高い目標を持って、一步一步、進んで行ってほしいと思っています。

現実の生活では、うまくいく日もあれば、うまくいかない日もあると思いますが、「毎日、少しずつでよいから、進歩しよう、と心がけて生活する」ということでよいと思いますし、高い目標を持つことが、くじけそうになる自分を支えてくれると思います。

私自身も、この機会に、自分を高める目標を持って、新しいことにチャレンジしたいなと思っています。

最後になりますが、ここにいる西中学校の先生やスタッフ全員は、「自立」へと向かう、皆さんの中学校生活が充実したものとなるよう、全力で、君たちをサポートするためにいます。一年間、ともに進んでいきましょう。